

ホームページへの掲載	
済	12月1日 掲載予定

岐阜県立飛騨特別支援学校高山日赤分校

学校長 安藤 邦寿
学校住所 高山市天満町3丁目41-1 電話 0577-34-3637

- 1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成 委員 塩谷 雅 花里校下まちづくり協議会会長
三川 賢悟 高山市福祉サービス公社 支援課長
谷倉 祐二 飛騨子ども相談センター 家庭支援課長
中西 直子 高山日赤分校卒業生保護者
三木 涼子 高山赤十字病院 第一病棟3階看護師長
(委員名は五十音順)

学校側 安藤 邦寿 校長
竹田万里子 副校長
森川 雅子 事務部長
長瀬美智代 部主事
- 3 会議の目的 開かれた活力ある学校づくりを目的として、地域住民や有識者等から学校運営に関して幅広く意見を聞くために学校評議員を置き、会を開催する。
- 4 会議の開催 令和元年11月13日(水) 10:00~11:30 高山日赤分校プレイルーム
委員2人と学校側4人が出席
- 5 会議の概要

(1) テーマ 第1回評議員会以降の登校の取組について

学校説明 小学部に転入生が入り、全校で12名になった。
現在、児童生徒の意思表示のためのスイッチ教材について、職員が研修に行ったり学校間交流を行っている高山工業高校の生徒と開発したりしている。当校の児童生徒は自分たちのニーズを伝え、高山工業高校の生徒はそのニーズに合わせて工夫して作成し、人々にどのように役に立つのかを知ることができるというお互いが将来につながる取り組みとなっている。
地域との取り組みという点で、芸能発表会に参加したり今年度初めて高山赤十字病院で写真展を行ったりした。児童生徒の笑顔で地域の方々が元気になれば、児童生徒が外に出て行くことでみんなが生活しやすい社会になればと思っている。

(2) テーマ 学校評価より

- 意見 1 子どもたちの意見も貴重。アンケートの記述の部分や、入院している児童生徒の様子から、皆が楽しく通っていることが分かる。また、地域とのつながりに力を入れていることもわかる。
- 意見 2 先生方の研修の一つとして、医療との連携の面から、高山赤十字病院のDr.に病気等の話をしてもらうことができるのでは？

- 意見 3 自分の子どもが通っているときに、先生方が研修をしているということを知る由もなかった。保護者が、(教職員の研修の項目に対して)「わからない」と回答するのわかる。
- 意見 4 日々の支援指導で当たり前に行っていることの意味を、保護者に伝えるようにすると良いのでは。
- 学校 今はコアスクールという役目をもった学校があり、その学校が主催する研修にも多く参加している。校外での研修の内容を教員間で共有し、保護者にも伝えていく工夫をしたい。

(3) テーマ 当校の教育活動に関する感想及び意見

- 意見 1 (欠席の委員の意見を代読)
この地域は「健康」「福祉」がキーポイントとなっていると考えている。まちづくり協議会としては、地域と学校をつなぐ役割を果たしたい。
- 意見 2 高山赤十字病院では、災害時にどのように地域と連動していくのか定めている。食料については、コンビニとの連携も考えている。その計画の中に当校が入ると良い。子どもたちが困っていたら入院できる等、検討できる点がある。
- 意見 3 この学校は街中にあるが、いろいろな所から通ってきているので、ここまで迎えに来ることが不可能な場合もあり、学校だけでは対応できないこともあるだろう。まず周囲の人に、ここが学校だと知ってもらうことが大切。そして教員の手が回らない部分に、地域の人にも協力してもらえると良い。
- 学校 防災については、学校だけで安全への取組を行うのではなく、地域の防災計画等、地域とつながっていくことが大切である。防災に関する情報の共有と協力をお願いしていきたい。

6 会議のまとめ(連絡)

今後の学校行事：令和2年3月11日(水) 卒業式 小学部1名 中学部1名 高等部2名
学校評価について：今後の学校の取組を文書で送らせていただくので、評価していただきたい。